

2007年 あけまして おめでとうございます



おもちつきぺったんこ、
楽しいね! (和保育園)

東御市長
土屋 哲男

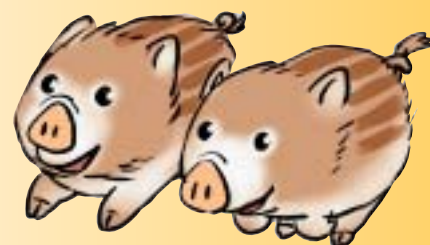


謹賀新年

今年が幸せな

一年でありますように

平成十九年二月



新年あけましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えになられたことと心よりお慶び申し上げます。平成十六年四月一日に「東御市」が発足してから、今年で四年目に入ります。この間、市政が総合計画に添って順調に進んでいますことは、市民皆様のご理解ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

昨年は七月に、梅雨前線豪雨が県下各地に多大な被害をもたらし、私たちに多くの痛み、悲しみを残しました。しかし、その後は村井県政や安倍政権の誕生と、新たな展望を予感させるリーダーの交代が続きました。

九月六日には、皇室にとっては四十一年ぶりの男子となる秋篠宮悠仁様のご誕生と、明るい話題がありました。また、景気の回復も顕著で、バブル崩壊後の低迷の時代を脱した感がありま

す。本年は、この明るい兆しが、消費や地域経済に波及し、皆が元気になれることを願うものであります。

当市では、一昨年から「環境」・「子育て」・「教育」を市の重点施策に掲げて事業推進を図ってまいりました。特に昨年は、東部クリーンセンターの排気ガス対策に着手したほか、病児・病後児保育施設「ほかほかるくむ」の開所や市民の皆さんに好評を頂いておりますデマンド交通システム「とうみレッツ号」の運行、懸案でありました海野マレットゴルフ場、丸山晚霞記念館もオープンすることができました。

さらに、まちづくりの基本理念を前文とした市民憲章や市の花に「レンゲツツジ」、市の木に「くるみ」、市の蝶に「オオルリシジミ」を制定し、明日の東御市を考え、互いに理解を深める日とする趣旨から十月三日を「東御の日」と

しました。

全国的な傾向ではありますが、今後も少子高齢化が一層進み、地域格差の拡大、地方交付税の削減など、自治体を取り巻く状況が大きく変化する中、「市民協働」と「行財政改革」の推進は不可欠であり、引き続き取り組んでまいります。

また、本年からは、市民の元気と安心をテーマに「健康づくり」を施策の柱に加えてまいります。市民一人ひとりが健康のために自分のからだと心を育むまちづくりこそが、「誰もが住みたくなるまち」の基本であり、これからの自治体の目指すべき方向と考えています。

結びに、平成十九年が市民の皆様にとりまして、幸せな一年でありますことを祈念し、新年のご挨拶といたします。

平成18年を振り返る

(市報とうみから抜粋)

- 1月**
 - 新春書き初め大会が中央公民館で行われ、小学生を中心として多数が参加する (1・5)
 - 消防出初式が田中商店街・サンテラスホールで行われる (1・8)
- 2月**
 - 地域福祉講演会が中央公民館で行われる (2・25)
- 3月**
 - 湯の丸スキー大会ジャンプ・ストスラロームが湯の丸高原スキー場で行われる (3・5)
 - いきいき生涯学習塾作品発表会が中央公民館で行われる (3・4・5)
- 4月**
 - 消防団任命式がサンテラスホールで行われる (4・9)
- 5月**
 - 各地区でまちづくり懇談会が行われる (4・18・28)
 - 第3回子どもフェスティバルが開催され子どもたちで賑わう (5・13)
 - 百体観音ふれあいウォーキングが湯の丸中央公園間で行われる (5・21)
- 6月**
 - 総合福祉センター内に病児・病後児保育室「ぽかぽかるむ」が開所する (6・2)
 - つつじ祭りイベントが湯の丸高原で開催される (6・18)
- 7月**
 - 第3回東御市長旗わんぱく少年野球大会が中央公園グラウンドで行われ、東御市のチームが健闘する (7・15)
- 8月**
 - 第2回市民まつりに約一万五千人が繰り出し、田中商店街が熱気に満ちる (7・29)
 - 親子ふれあい青空朝市が北御牧グラウンドで行われる (8・12)
- 9月**
 - 成人式がサンテラスホールで行われ、397名の新成人新たな門出を祝う (8・15)
 - 防災訓練が各区で実施される。称津小学校でモデル地区の大規模訓練 (9・3)
 - 巨峰の王国まつりが中央公園で行われ、来場者で賑わう (9・16・17)
- 10月**
 - 東御の日、市民憲章・市花・市木・市蝶制定式典が中央公民館で行われる (10・3)
 - 火の아트フェスティバルが芸術むら公園で行われ賑わう (10・14・15)
- 11月**
 - 丸山晚霞記念館がサンテラスホール隣にオープンする (11・3)
 - 文化会館開館15周年記念コンサート「土の歌」が行われる (11・25)
- 12月**
 - 青少年育成市民大会がサンテラスホールで行われる (11・3)
 - 人権週間に合わせて人権尊重のまちづくり市民の集いが中央公民館で行われる (12・10)



▲ぽかぽかる〜む開所



▲子どもフェスティバル



▲まちづくり懇談会



▲消防団任命式



▲丸山晚霞記念館オープン



▲東御の日に市民憲章碑を除幕



▲成人式



▲市民まつり

学社融合の取り組みが進んでいます



▶ 東部高校生と園児が楽しく遊ぶ
(中央保育園)

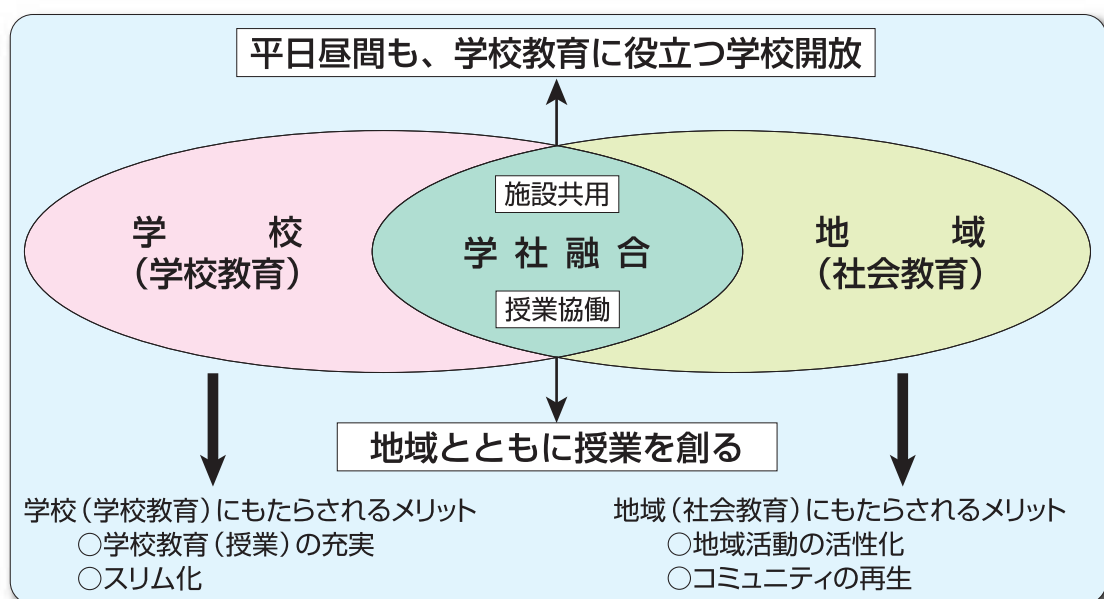
●学社融合とは？

「学社融合」とは、学校教育と社会教育の融合をいいます。今まで、学校と地域の連携が比較的弱かったように思いますが、地域にも学校教育で役立つ知識や技能を持っている方がたくさんいます。地域（社会教育）の方々が保育園や学校で子どもたちに教えること、つまり学校と地域で協働して子どもを育てる体制のことを「学社融合」と呼びます。

●実際に何を

していますか？

具体的には、地域の方が学校で読み聞かせをする、家庭科の時間に料理を指導する、英語の時間に英会話に参加する、巨峰の栽培方法を教える、子どもたちも作業をする、地域の方の指導により子どもも歌舞伎を上演するなど様々な取り組みが行われています。ここでは市内各学校から取り組み内容をご紹介します。



田中小学校

地域も元気、教師も元気、
共に汗を流して、子どもたちのために

今年度、田中小学校では学習支援ボランティアの皆さんにお手伝いいただき、家庭科・習字・英語など、様々な場面で子どもたちの学習を支えていただいています。また「見守り隊」の方、水泳指導に関わった方、読み聞かせのお母さん方、クラブ活動に関わった方など多くの皆さんの手を借りて学社融合の中で教育を進めてきました。

来年度は、学校の周りの休耕地を開墾した畑に作物を作ったり、ホタルの飼育を行ったりして、全学年を通して豊かな体験活動しながら、地域の方の知恵に学びたいと思います。まず、学校を開こうと考えています

のでいつでも学校に来てください。

地域も教師も一緒になつて、子どもたちのために汗を流し、日常的な関わりを増やしていきたいと考えています。



▶地域の方とともに作業

滋野小学校

あたたかく気軽な交流を

滋野小学校では、各学年や児童会で、学社融合に向けての取り組みを進めています。

一年生と児童会は、保育園の年長児とともに交流をすすめています。二年生は、自分たちで作った大豆を使い、地域の方とともに豆腐作りを行う予定です。三年生は、祖父母の方とともに巨峰づくりと販売体験を行いました。四年生は、原口活性化委員会の方とともにそば作りとそば打ちを行いました。五年生は、J Aや保護者の方とともに米作りともちつきを行いました。六年生は、学校近くの地下道の壁画を、地域の方々とともに制作しました。

またこのほかに、さんらいずホールやともぎとの交流もしています。地域の方々には、クラブ活動やそれ以外の授業にも参加していただいています。

地域の方々から、お褒めや感謝の言葉、手紙をいただき、子どもたちの意欲や達成感を高めていただいています。これからも、子どもたちにあたたかな声かけをし、気軽に関わっていただけるとありがたいです。



▲そば打ちのようす

柵津小学校

ネットタイムの時間

三年生以上の「総合的な学習の時間（ネットタイム）」で、月2回程度のクラブ活動をしています。今年度は、13のクラブのうち、6つのクラブで外部講師をお願いしました。歌舞伎・料理・お茶遊び・押し花・ニュースポーツ・木や竹で作って遊ぶの6クラブです。

来年度のネットタイムは、全て外部講師とともに活動したいと考えていますので、子どもたちと楽しいひとときを過ごしたい皆さんの応援を待ちしています。上記クラブのほか、今年度は実験・手芸・野球ソフトボール・まんが（絵、デザイン）・柵津たんけん・囲碁将棋チェス・室内ボールスポーツの全13クラブですが、それ以外も可能ですので、学校へご連絡ください。よろしく願います。



▲お茶遊びクラブ

和小学校

ドリームかこの時間

本校では、学社融合のテーマを「故郷かこの自然、文化に学び、故郷を愛し、故郷に生きる子どもの育成」として、学社融合における教育活動を進めています。

総合的な学習である「ドリームかこの」は、野つる工芸、おやき作り、昔の遊び、囲碁、科学実験工作、マレットゴルフ、茶道、自然観察会等の20講座を開き、34名の地域の皆さんを講師にお招きして、全校縦割りで自分が希望した講座で約2時間の活動を行いました。講座では、上級生が積極的に進行了しました。講師の先生方の熱心なご指導により、子どもたちにも大変好評でした。

今後も「ドリームかこの」を大事にして継続すること、地域の皆さんの心が伝わるあたたかいふれあいの場となるように努めていきたいと思います。



▲囲碁を楽しむ

北御牧小学校

深まる地域と子どもの連携

北御牧小学校

では学校教育への関心がある団体と連携したり、学習内容が地域の自然や文化に根付いたものとなるように配慮したりして生涯学習の実践を進めています。

市の天然記念物オオルリシジミの保護観察活動

動を「守る会」会員の方に指導していただきながら、現在200匹以上のさなぎを飼育しています。春の孵化が今から楽しみです。

梅野記念絵画館指導委員の方からは、家族参観日で親子工作を行う際に材料の準備、会場の環境設定、展覧会での作品観賞など、専門的な立場から指導していただきました。

保護者の方には朝の時間の読み聞かせや野外行事での授業参加などが日常的に行われるようになり、徐々に位置づいてきています。

地域の皆さんで、北御牧の地域食材や自然の学習に関わってください。子どもたちの教科学習で学習支援をしていただける方を探しています。ご協力をよろしくお願いいたします。



▲地域講師による図工指導

東部中学校

共に生きる東御市を目指して —身近なボランティア—

東部中学校では、総合的な学習の時間の中で「地域学習」を行っています。それぞれの学年で学社融合を図りながら計画を立てて実践していますが、ここでは三年の実践を紹介します。

三年では、地域の人々と関わりながら、今自分が地域のためにできることを実践しようと、「身近なボランティア」を題材に選び、およそ半年間学習してきました。「らぶりー東御」と名づけたこの活動では、4分野14グループに分かれ、地域の方々の協力をいただきながらボランティア活動を行いました。そのうちのひとつ、「車椅子グループ」では、まず車椅子を利用している方からの話をお聞きました。次に、車椅子マップ作りを計画し、市内の公共施設・商店などに出向き、地域の方にご協力いただきながら調査活動を行い、福祉マップを作ることができました。まだ不十分なものですが、来年度に引き継ぎたいと思っています。

来年度は、事前や事後の段階でも今年度以上に関わっていただき、さらなるご支援をいただければありがたいです。



▲車椅子グループの体験

北御牧中学校

「地域の方に学ぶキャリア教育」を志向した家族参観日を実施

学社融合を目指して、今年度はじめて「キャリア教育」参観日を実施しました。「学校、家庭、地域が一体となつて子どもの教育や地域の生涯学習支援に取り組む。学校、地域それぞれのメリットを重視する」という基本的な考え方をもとに、PTAの役員の方や地域の方にご理解いただき、計画を進めました。当日は10職種の体験学習が組み込まれ、実施後のアンケートでは「これからの高校の進路などを決めたりするにもいいし、楽しめながらできて本当にいい体験でした。（生徒）」「よい試みでした。生徒は一職種のみのよかつたと思いますが、親の私はい欲張りで様々な職種をのぞいてみたかつたと思いました（保護者）」など、肯定的な意見や感想が多く、意義があつたと実感しました。昨年度のPTA活動の反省から発想し、PTAを巻き込んだ大きなプロジェクトになりました。企画の段階から保護者や生徒の意見や要望が大きく反映されて進められていったことが大きな収穫でした。今後もこのような活動を発信していきたいと感じています。



▲興味深く話を聞く生徒たち

東部高校

保育園との交流について

本校では、平成16年度よりコース制授業が始まり、それにともなつてスポーツコースと福祉コースの生徒たちが定期的に市内保育園との交流を行い、2年目を迎えています。近ごろは、同じクラスの仲間なのに話がでなかつたり、目的もなくただ何となく学校へ来ている高校生たちが多くなつてきているように思います。保育園児と交流することにより、気分がのらなくても園児たちがいろいろ求めてくるので、自然に話をしなければならぬ状況になります。この「異世代との交流」を行つてみて、はじめのころはあまり興味を示さなかつた高校生たちが、保育園へ行くのが楽しくなつてきたなどの感想が寄せられています。

園児から頼られることにより、自分に自信を持てたり、気持ちが不安定な生徒が保育園へ行くこと優しい気持ちに返ることができ、笑顔になつたりします。この学社融合の交流は、良好な人間関係構築の一助となつていきます。

来年度から「東御清翔高校」と校名を変更する本校にとつて特色ある授業の一つとなっています。今度ともご協力をお願いします。



▲いろいろお話しうね！

地域の皆さん、子どもたちと楽しんでみませんか

保育園、小・中・高等学校ではこうした活動をしたいと思う皆さんを募集しています。少しのことでも何かやつてみたい：そう思つた方はぜひ学校・保育園へお問い合わせください。また、地域でこんなことができるという人材を知っている方がいれば、学校でお願いしたいことと地域の皆さんがやりたいことを結びつける「コーディネート」として活躍していただけますので、ぜひお問い合わせください。

●学社融合に関する総合的な問い合わせ先

教育委員会教育課
☎64-5879

作文・標語」入選作品紹介

上田地区納税貯蓄組合連合会において、租税教育推進事業の一環として「第40回中学生の税についての作文」を募集しました。9校から507点の応募があり、東御市では4名の作文が入選しました。また、上田税務署と上小・更埴租税教育推進協議会において募集

した「税に関する中学生の標語」には21校から2103点の応募があり、東御市では10名の標語が入選しました。ここでは、皆さんの作品を紹介します。（敬称略）

関東信越税理士会 長野県支部連合会長賞

輝く未来とつなぐ現在

東部中学校三年 清水 友美

生まれたときから私達の身近には税があった。病院、保育園、小学校……。全て税から生まれたものだ。それに、水道や道路など日常生活に必要不可欠なものも、税で成り立っている。

最近TVで「増税」という言葉をよく、耳にする。その度に私は、税は国民の重い負担でしかないと思っていた。しかし、税がなければ、国民の給料も、公共施設の建設も全て実費で賄うことになるのだ。

今の景気は良いとは言えぬ状態にある。経済社会を円滑にするためには、まず、「税」が必要条件であると言って良いだろう。小さな日本の中でも、経済格差がある。しかし唯一平等なのは、誰もが教育を受ける権利と、社会のために貢献する義務があるということではないだろうか。私た

ちは私たちが払った税金によつて生きることができ。つまり、誰もが、誰にも助けられ、また助けながら生きていくということだ。年齢に関係なく、私たちは確実に日本社会の一部であり、また大切な存在なのだ。税の勉強をして初めて気づくことができた。そして、教育を受けるためには誰かが納めた税が必要で、大人になった私たちは、きつとその時代の子どもたちのために税を払うことだろう。

メディアで、大企業などの脱税事件を知ると、会社ばかりでなく商品も信用できなくなることは言うまでもないが、それ以上に「権利」や「富」ばかり求め、努力や義務を忘れていくこと、大人なのに恥ずかしいと思わないのだろうか。かと思しく信じがたい思いでいっぱいになる。義務と権利は対になっていて、社会に貢

献しなければ、社会から貢献されることもない。

未来というものは、終わりのないジグソーパズルのようで、私たちはそのピースであるように思う。どんなに小さくても、その一部であることには変わりない。そして、なければならぬピースであることに。税は未来への貯金なのだ。税金は私たちの未来へと続く架け橋だ。現在と未来を、創るその中には、必ず私たちが納めた税がある。考えてみると実際に自分達の手で未来を創っている、という実感が湧き、存在の大切さ、希望、そして喜びが込み上げてくるように思う。

このように、全国の中、高校生も税について興味を抱いてくれば、より一層の社会の発展にもつながることだろう。

「税に関する中学生の標語」 入選作品

関東信越国税局長賞 佳作

税金は

あなたと私の

未来の切符

北御牧中学校一年 萩原 優花

上田税務署長賞

税金に

託そう未来

輝く社会

東部中学校三年 片桐麻里奈

「税に関する中学生の

上小・更埴租税教育推進協議会長賞

税金について

北御牧中学校三年 岡元 翔吾
おかもと しょうご

「滞納者。」という言葉をも
近よく聞くようになった。滞
納者が増加していることは、
あつてはならないことだと思
う。税金を納めることは日本
国民の義務であるはずなのに
……。

税金は、身近な所で大切な
役割を果たしているものです。
僕が今まで学校で教育を受け
られたのも、道路の舗装など
もすべて税金のおかげなので
とても感謝しています。

また僕は以前、買い物をする
時に「なんで消費税をブラ
スして払わないといけないん
だよ」とよく思っていたこと
があったけれど、今では義務
だから払うというより「日本
社会がより良くなるために」
という気持ちから払うように
なってきた。そんな自分が
払った税が少しでも国のため
になっていると思うと、とて

も嬉しくなる。

話は変わるが、僕は中学校
では野球部に所属していまし
た。そして僕たちは「チーム
一丸」という目標を掲げて
日々の練習に励んでいました。
そして最後の大会では、いま
で必死につくり上げてきた
「チーム一丸」の力で一勝す
ることができた。自分達に
とって初めての公式戦の勝利
だった。ずば抜けた選手はい
ないが、小さな力がチーム一
丸により、大きな力になった
からこそ得られた結果だった
と思う。

だから税金も国民一人ひと
りが「日本社会のために」と
いう意識を持ち、しっかりと納
めれば大きな力になっていき、
今よりもっと素晴らしい社会
になっていくはずだと思う。
そして、皆税金を納めている
のだから自分だけ納めないの

はやめてほしい。

現在の日本は一人ひとりの
税に対する意識が低いのかも
しれない。なので、なんらか
の形で税について理解を深め
て意識を高める必要があると
思う。そうすれば滞納者は減
少していくだろう。そして僕
が大人になっているころには、
滞納者が限りなくゼロに近づ
いている社会でありたい。し
かし、それはとても難しいこ
とであるから僕が出来ること
は何か考えて、自分から進ん
で行動していきたい。

「僕がやらずに誰がやる、
今やらずにいつできる」の気
持ちを持って今後の社会は、
人に頼らず、自分を変えてい
きたい。そして、未来の子供
達が安全に暮らせる世界一平
和な国をつくりあげていき
たい。

上小・更埴租税教育推進協議会長賞

税金で

つくる未来の

街がある

東部中学校三年 中村 祐輝
なかむら ゆうき

税金で

福祉社会を

支えよう

北御牧中学校二年 小林 泰輔
こばやし たいすけ

上小地方事務所長賞

納税で

創造しよう

住む町を

東部中学校三年 矢島 輝
やしま てる

上田地区納税貯蓄組合連合会長賞

税について

東部中学校三年 竹内 涼

税の勉強をしてみて、税の事がわかった。税は国を維持し、発展させていくために欠かせないものです。

もう一つは、税は、国や地方公共団体が公共サービスを行うのに必要な費用をまかなうために、国民に負担を求め

るものです。その負担が、所得税、住民税などの直接税や、消費税、酒税などの間接税として国民に割り振られているわけです。民主主義国家である日本では、税に関する法律は、国民の代表である国会議員が国会で話し合って決定します。これが税についての民主主義の基本原則です。

地方公共団体の税金である地方税についても同様です。地方税法という法律や、地方公共団体の議会が定める条例でその仕組みが決められています。これが税の仕組みです。

次は、納税の義務は憲法でも定められています。税は国を維持し、発展させていくために欠かせないものです。憲法でも税金を納めること「納税」を国民の義務と定められています。納税の義務は、勤

労の義務、教育の義務とならんで国民の三大義務のひとつとされています。日本国憲法第30条では、国民は、法律の定めるところにより納税の義務を負ふです。最後に日本の経済が戦後大きな発展をとげる中、財政の柱である税の仕組みも、時代とともに変化してきました。税は、社会保障、環境問題、

国際協力など、さまざまな目的に使われ、その割合もそれぞれの時代によって変化しています。しかし、税はいつの時代でも、そこに生きる人々の豊かな

で夢のある暮らしと深く結びついて、忘れたてはなりません。

わたしたちがこれからも健康で文化的な生活を送るためには、税のあり方を一人ひとりが真剣に考え、このかけがえない社会と地球を守っていく必要があるのです。

自分の考え

①税はとても大切

②みんなが税のあり方を考える

この二つが大切だとわかった。

上小地方事務所長賞

暮らし良い
社会をつくろう

税金で

北御牧中学校二年 田村 春菜

上田地区国税モニター友の会長賞

僕たちの
未来の道に
税がある

東部中学校三年 山本 裕和

上田間税会長賞

税金で
一歩ふみだす
明日の未来へ

北御牧中学校三年 武井 優香

上田地区納税貯蓄組合連合会長賞

税の大切さ

北御牧中学校一年 田村 春菜 たむら はるな

私は、今まで、「納税は何でしなくちやいけないのかなあ」と不思議に思っていました。だけど、本を読んで初めて知った事があります。それは、『日本の収入の大部分が税金』ということです。それを知った私は、「税金を納めない人がこれ以上増えたら大変な事になってしまうんだなあ……」と思いました。

税金は税金でも、物を買った時、市町村に住んでいる人、会社に勤めている人、自分で商売をしている人、土地や建物を持つている人達などから集められます。「私も税金を納めている人のうちの一人なんだなあ」と思いました。そして、地方税の使われ方も授業で初めて知りました。火災や災害から守ったり、健康を守ったり、ごみの収集、校舎の整備、道路の整備、福祉活動……。私があのかで勉強したり、安心して過ごせるの

も、道路がいつも整っていたりするの、この税金のおかげだったなんて、思ってもみませんでした。今まで何気なく支払っていた消費税も、こういうことに使われていたんだなあ、と分かりました。

しかし、その税金が、無駄な工事をしたり、無駄に使われたりしている事をテレビで知りました。「みんなの税金を無駄にするなんて!!」——私はそう思いました。高齢化が進み、増税が考えられている中で、その様な事が起こるなんて、私は、とても残念に思います。私は税金を、そんな事には使わないでほしいと思います。そして、みんなが健康で、安心して過ごせるような街をつくるために使つてほしいと思いました。税金の無駄使いを防ぐためには、議会で話し合いをし、それで良いのかどうかよく確認をする事が大切なんじゃないか、

と思いました。

私は授業で習わなかったら、税についてほとんど分からないうままでした。まだまだ分からない事は多いけど、これからの授業をしつかり聞いて、覚えたいと思います。そして、将来は、しっかりと税を納めた人と思つていきます。

私達は、税を納める事によって安心して生活を送つていきます。だけど、普段から「税を納めるのは大切な事だ」と思っている人は少ないと私は思います。だからこそ、ポスターを使用したり、呼びかけをしたりして、普段から税の大切さを訴えかけて行けば、無駄使いを防いだり、税を納めていなかった人も、税を納めてくれたり、などと言う事が実現するかもしれません。「税」と言う、一つの事から、暮らし良い街づくりにつながって行けばいいなあ」。私はそう考えました。

東御市長賞

税金が

この道この町
つくってる

東部中学校三年 深井紗耶香 ふかいさやか

納税で

みんなの周り
支え合う

北御牧中学校一年 渡邊 舞 わたなべ まい



すくすく育つとうみっ子!!

誕生日おめでとう! (1月生まれ)



おがさわら あやは
小笠原 彩羽ちゃん(大川)
(1歳、H18.1.3生)

この1年、笑顔とたくさんの発見をありがとう! あんよも拍手もとても上手でカワイイね。これからも彩りある人生に羽ばたいて行ってね。



たなか ゆい か
田中 結華ちゃん (田沢)
(1歳、H18.1.18生)

好奇心旺盛な結ちゃん。結華の笑顔はみんなに元気をくれるね♥これから元気にすくすくおおきなあれ! お誕生日おめでとう♥



はなおか ひとむ
花岡 一夢くん(常田)
(1歳、H18.1.19生)

誕生日おめでとう。仕事から帰ると笑顔ではい寄って来てくれる君がとても愛しいです。元気で優しく夢をもって育ってね。



みやした てる み
宮下 輝海くん(本海野)
(2歳、H17.1.1生)

輝ちゃん2歳のお誕生日おめでとう。甘えん坊ででかかん坊わがままな輝ちゃん。これからどうなるの?楽しみだね。兄ちゃん!



たかしま り お
高島 莉生くん(畔田)
(2歳、H17.1.3生)

莉生! 2才のお誕生日おめでとー♥言葉もいっっぱい覚えだし、お歌も上手に歌えるようになったネ! これからも元気で優しいニコニコ莉生でいてね♥



やなぎさわ やま と
柳沢 大和くん(祢津南)
(2歳、H17.1.8生)

いつも笑顔で周りを和ましてくれる大和。元気で優しい子に育ってね。



おかだ はやと
岡田 隼くん(常田)
(2歳、H17.1.14生)

2歳の誕生日おめでとう! 車より、プールより、チョコよりも大好きなじじへの追っかけに励む毎日。元気いっぱい、大きくなあれ!



たなか な な
田中 那奈ちゃん(加沢)
(2歳、H17.1.18生)

今年もななちゃんのお誕生日をお祝いすることができて感謝。ずーっとそのスマイルでね! おめでとう。

☆募集します!!☆

(対象者 2月生まれの3歳まで)

写真・住所・お住まいの区・氏名(ふりがな)・生年月日・性別・TEL・コメント50字程度を添えて企画課広報担当までお送りください。記載漏れのあるものは掲載いたしかねます。なお紙面の都合上適宜編集いたしますのでご了承ください。締め切りは、1月12日(金)必着。



たきざわ いつ み
瀧澤 樹心ちゃん(栗林)
(3歳、H16.1.9生)

おたんじょうびおめでとう♥いつもニコニコのいつみちゃん妹のお世話ありがとう。これからもやさしいいつみちゃんできてネ。

VOICE

喜怒哀楽

子どもたちは悪くない

VOICE 1

今年は事件や事故がたくさんあった一年で、命の重みを考えさせられました。大きな問題となつたいじめ問題。ある新聞に、社会に満ちている理不尽さ、大人たちの子どもたちへの関心の欠如が原因の一つと書いてあった。私はその意見になるほどなと思いました。子どもは大人の、親や身近な大人の背中を見て育つ。大人は社会から受ける不公平を子どもに押し付ける。虐待なんかはその典型です。一方、子どもたちはそんな大人たちには自分の不満をぶつけられず、弱いものいじめに走る。昔はいじめがあつても誰か助けてくれたかもしれない。でも今、他人の助ける心の温もりを口では言つても自らの行動で示せる大人が何人いるでしょうか？大人世界の理不尽さが敏感な子ども世界で吹き出ている。子どもたちの心つて本当は悪い心なんて一つもない、大人が植え付けている、子どもたちは悪くないと確信します。大人たちの世界にはいじめがないのでしょうか？大人の新しい年、自分も含めて、大人たちが自分の周りから考えることが多くなる、多くしなくてはいけないと思います。

(匿名)

VOICE 「喜怒哀楽」のコーナーは、嬉しいこと、悲しいことなど身近にあった話題や感じたことなど皆さんの便りをお便り掲載します。疑問に感じていることでも結構です。皆さんの投稿をお待ちしています。
(企画課「VOICE」宛)

心の眼

人間らしく生きる問題

(32)

人権同和教育指導員
猪股 惇



「人権」というのは、やさしくいうと「人間らしく生きる権利」「生き甲斐をつぶされな権利」だと言つてもいいと思います。自由のびのびとしかも不公平な扱いをされずに生きること、幸せに生きることと言つてもいいでしょう。実は簡単なことなのだと言えのに、なぜか、わざわざ「基本的人権」とか、難しい理論や、憲法の条文や、世界人権宣言を持ち出して考えようとする傾向が強いと言えます。これが「人権」を難しくし、私たちから縁遠いものにしていくのではないのでしょうか。私たちは、日常、生き甲斐をつぶされないことを願つて生きていくのですが、その間、いろいろと苦労をし、時には喜び、時には悲しみ、腹を立てながら一生懸命生きています。「生きていてよかった」と言える人生を願ひながら……ところが実際にはそうではないことが圧倒的に多いのではないのでしょうか。「くやしい」「残念だ」「腹が立つ」と思うことや「悩み」がもとで死を選んでしまう人もいます。

そこで「そうさせてはならない。満足して死ぬるような生き方をする」ことを権利として認め合おう」というところから、「人権」という考え方が出てくるのです。したがって、人権問題を考えるということは「人権」に関する言葉の意味や知識を学ぶということではなく、人間が生きている姿を見て、そこで人間として望ましい生き方を考えるということなのです。日常生活の中で、自分自身の生き甲斐をつぶされていることも、自分が他人の生き甲斐をつぶしていることも、他人が他人の生き甲斐をつぶしていることも大小含めて数えきれないほどあります。とりわけ、自分とは立場の違う人権の問題―部落問題、障害者や在住外国人等々の人権問題などです。これらも、相手の立場をよく知り、お互いの生き甲斐をつぶさずに、その人たちが「人間らしく生きていくか」を考えることが「人権」を大切にすることだと思ひます。

おいしい ヘルシークッキング ⑩

(レシピ提供：食生活改善推進協議会)

鮭のポテサラ焼き

いつもの焼き魚がぐんとボリュームアップ。冷めてもおいしいので、翌日のお弁当にも。

●材料 (6人分)

生鮭 (切り身)	6切れ(480g)
薄口醤油	大さじ1と1/2
A 酒	大さじ1と1/2
黒こしょう	少々

ポテトサラダ (市販)	300g
卵黄	1個分
パセリ	適量
南天の葉	適量

●作り方

- ①オーブンを250℃に暖めておく。
- ②鮭の両面にAをまんべんなくまぶし、下味をつける。
- ③天板にオーブン用の紙を敷いて②の鮭をのせる。ポテトサラダをのせ、溶きほぐした卵黄をはけでぬる。
- ④③を①のオーブンに入れ、約8分

間焼く。

- ⑤④を取り出して皿に盛り、パセリのみじん切りをのせる。南天の葉を添える。



元気発信！子育て施設

田中保育園の話題



田中保育園は、市内で一番人数が多い園です。年齢別クラスのほか、5月に仲良しグループを結成し、異年齢交流を楽しんでいます。縦割り保育を通して「友達みんな兄弟、姉妹、家族」というような心のつながりがもてるよう活動しています。結成当初は仲良しグループにとまどっていた年少さんも様々な活動を通してつながりを深め、12月の「お楽しみ会」にはお兄さんお姉さんたちと一緒に楽しく劇の発表をすることができました。また、春に植えたさつま芋の苗や小さな田んぼの稲も秋には豊かに実り、仲良しグループでも掘りや落ち葉集めをしました。みんなで収穫したおいもと集めた落ち葉で焼いた焼いものおいしかったこと！お米は上新粉にして一月のものの作りの時に使い、祖父母の方々の



▲高校生との交流

交流を計画しています。11月7日には、東部高校の生徒が来園し、年長児を対象に手作りのパネルシアターを使って一緒に歌ったり、ハンドベルの演奏を聞かせてくれたりして、子どもたちにとって楽しいひとときでした。園児たちの興味や気持ちを考えながら、自分たちで工夫して進行していただき、日ごろから馴染み深い曲も新鮮なメロディーに変身し、子どもたちは興味津々でした。高校生のたくましさや優しさ、元気を全身で感じ、「あのお兄ちゃん（お姉ちゃん）のようになりたい。」と憧れを抱いたお友達もたくさんいました。



▲おいしいおいも！

学校だより



君達の未来を

ここに描こう

CM制作・北御牧小学校
六年生に向けて

北御牧中学校二年

吉池 莉奈

私のクラスでは、校長先生から依頼され、学校のCMを作ることにした。テーマは「早く入学したい学校」。それを聞いた時、みんなびっく

楽しくできた

巨峰染め

滋野小学校五年

深井 真央

私の家では、巨峰を作っています。そこで、クラスのみんなで巨峰染めを作ろうと決め、皮を集めました。その皮を大鍋で煮て焼みようばんを入れました。先生が縫ってくれたパン敷きにビー玉やわりばしを使ってもようを作り、鍋に入れました。私はイニシャルを入れましたが思ったより

りしたが、興味津々だった。

各班で、まず、どんなキャッチコピーにするか考えた。

それはCMの中でも大切なもので、短い言葉の中に私たちの思いや願いを込めなくてはいいけない。だからどの班も真剣に考え込んでいた。私たちの班では悩んだ末「君達の未来をここで描こう。」というものに決定した。

それからCMの構成を考えながら、絵コンテを仕上げた。どの班の絵コンテも工夫されていた。次にその絵コンテを使つてのCMの企画のプレゼンをした。プレゼンの仕方はニュース風や会議風等にし、CMの企画を採用されるよう

りむずかしかったです。煮てかわかしたら、紫のうすい色でした。とても不思議でした。

とっても楽しかった

収穫祭

滋野小学校五年

中村結女美

私達五年生は、四月からもち米とうるち米を作ってきました。そして、そのとれたもち米を使つて、きなこ、あんこ、しょうゆのおもちを作りました。



▲みんなでもちつき

収穫祭には、お米作りにかかわった人や、おもち作りを手伝ってくれた保護者の方もいっしょに食べました。とてもおいしかったです。



▲CM作成のようす

にと、どの班も必死だった。最終的に一つに絞り、撮影に移った。出演者、スタッフはクラス全員。NGばかりで何回も撮り直した。そして、ついに完成。

このCMを見た六年生が中学入学への期待に胸をふくらませてくれるといいと思う。

17議案を可決

平成18年市議会第4回定例会

12月5日、平成18年市議会第4回定例会が開会しました。この定例会では、平成18年度一般会計補正予算に係る議案、改正条例案など計17議案が審議されました。

12月12・13日には一般質問が行われ、16名の議員が質問をしました。

審議の結果、原案どおり可決・承認し、定例会は12月22日に閉会しました。(詳細は2月発行の議会だよりに掲載されます)

市長招集あいさつ(抜粋)

市発足後3年目の市政もいよいよよまとの時期に入ってきました。本年度は、昨年度から引き続き「環境」・「子育て」・「教育」を柱として施策を実施しておりますが、計画された事業がひとつひとつ実を結んでまいりました。市民のための安心・安全のネットをしっかりと作り、本市のまちづくりの理念である、市民が真の豊かさを実感し、元気を世界に発信することができるまちづくりを進めてまいります。



安全運転を誓う

東御市交通安全講演会

12月14日、サンテラスホールで交通安全講演会(市、交通安全協会など主催)が行われ、約700名の市民が参加しました。

関係者のあいさつのあと、犯罪被害者遺族の会「虹」の大塚清美さんと芝波田和子さんが「交通事故被害者遺族として、伝えたい『命の重み』」と題した講演を行いました。飲酒運転・無謀運転により尊い親族の命が奪われてしまった話に参加者は涙を見せ、「ハンドルを握ったら人に優しい、思いやりのある運転を」という話にうなずきながら聞いていました。

最後に参加者が全員で「安全運転の誓い」を朗読し、交通安全を改めて胸に誓っていました。



土屋市長 HOTホットダイアリー

No.29



「清水の舞台」と言えば「非常な決意」を連想します。そんな「清水の舞台」で一年の世相を表す「今年の漢字」が発表されました。二〇〇六年は「命」が選ばれました。今年で十二回目となる「今年の漢字」は京都市に本部を置く日本漢字能力検定協会が毎年全国から公募し、最多のものを決定するものです。

二〇〇六年を振り返り「命」が選ばれた理由がわかります。いじめによる「自殺」、親による子どもへの「虐待」、そして飲酒運転による「事故」、痛ましい事件が続き命の大切さが改めて叫ばれた年でもありました。また、明るい話題では秋篠宮家で長男悠仁さまが

お生まれになり、多くの国民がその「生命の誕生」に歓喜の声を上げました。ちなみに二位は「悠」、三位は「生」とのことです。

この「今年の漢字」は、阪神・淡路大震災が起きた一九九五年に始まったとのこと。一回目は大震災を象徴する「震」で始まり、以来「倒」「毒」「戦」「災」のような暗く苦しいことを表す漢字が続きました。そして、二〇〇五年に初めて「愛」という明るい漢字が選ばれました。そして二〇〇六年は大変心に重い漢字が選ばれたと思います。

人間一回の人生です。そして一つの命です。天に授けられたこの尊い命を何よりも大切にしなければなりません。二〇〇七年の漢字が明るく喜びに満ちた漢字が選ばれることを願うのみです。

土屋 哲男

図書館へ行こう!!

東御市立図書館

☎64-5886



ゆき
ユリ・シュルヴィッツ…作
あすなる書房…発



冬の龍
藤江じゅん…作
福音館書店…発

1月のテーマブック
【冬のおはなし】
今月は「冬」にちなんだ本を集めてみました。冬將軍が来る寒い季節ですが、この時期にこそゆつくりと本に親しんでみませんか？

◆新着本案内◆

◆一般書

- やどかりとペットボトル ……池上 永一・著
- 神の領域 ……堂場 瞬一・著
- そのまの光 ……関口 尚・著
- 通天閣 ……西 加奈子・著
- 見てわかる！クルマ洗車・磨き完全ガイド ……池田書店編集部・編

◆児童書

- 犯罪から身を守る絵事典
—こんなときどうする？— ……国崎 信江・作
- 料理図鑑
—「生きる底力」をつけよう—
……おち とよこ・文
- お手紙レッスン
……D・Jルーカス・作
- うさぎはやっぱり
—ウサギ年のひとの絵本—
……五味 太郎・絵
- 獣の奏者 1・2
……上橋 菜穂子・作

◆行事予定◆

図書館職員による

- 1月のおはなしこども会
●日時 1月20日(土)
午前10時30分から
- 場所 市立図書館2階読書会室
- 内容 紙芝居
「しりとりのあそび」
絵本「わあいわいゆき」
「十二支のおはなし」
「うさぎのポッポ」
パネルシアター
「かさじぞう」
工作「スライスイいのしし
おやこ」

- 1月12日(金)は、おはなし会があります
- 場所・時間 こどもフロアにて 10:30〜
- 対象 就園前の子どもさん

図書館発 オススめの一冊

●死顔……………吉村 昭・著

自らの死を自覚して延命治療を拒んだ著者が、遺書のように書き残した短編集。自らの最期とも符合する表題作など、全5編を収録する。闘病と最期の刻を夫人・津村節子が綴る「遺作について」を併録。

●僕僕先生……………仁木 英之・著
時は唐代。若き王弁は父の財産によりかき、学ばず、働かず、娶らず、ひたすら安逸を貪っていた。そんなある日、父の命で黄土山へと出掛け王弁は、そこでひとりの美少女と出会う。自らを僕と名乗るその少女、なんと何千年も生き続ける仙人で、不老不死にも飽きた辛辣な美少女仙人とまだ生きる意味を知らない弱気な道楽青年が、五色の雲と駿馬を走らせ天地陰陽を大冒険！日本ファンタジーノベル大賞大賞受賞作。

●ポポおばさんにとりたち……………おおしまりえ・絵
やまばとのポポおばさんが住んでいる大きな木には、たくさんの鳥の家族が暮らしています。ある日、ことりたちが楽しいピクニックから帰ると、たいへんなことが…。大きな木とことりたちの心あたたまる絵本。



コラム

図書館のしごと その6

図書館改築の動き

今月号は市民の皆さんから要望が多く出されていきました図書館の改築の動きについてお知らせします。

今ある図書館は昭和57年4月に開館しました。当時、図書館づくりの運動が活発になっていた時代で、この50年代は当図書館を含めて長野県で8館が建設されました。

開館以来、多くの皆さんに利用され25年が経過しています。この間、当初の蔵書が2万8千冊であったのに対し、現在は10万冊を超えています。また貸出し冊数も4万冊から14万冊に増加しており、利用状況の変化が分かります。

年数の経過とともに狭くなり、図書館の利用方法も多種多様となり、図書館の持つ役割、機能も時代に合わせて変化してきています。このような中で、図書館改築の議論がされ始めました。



▲研究委員会の視察 (10月)

インターネットで図書館の本が検索できます。 <http://www.echol.gr.jp>

ケアポートみまき発 健康増進プラザ 水と健康 ⑫

古くて最先端、プールの運動！

温泉アクティブセンター 山田 弘美

皆さんは、最近いつプールに行かれましたか？「ついでの間だよ」という方もいれば、「ここ何十年も水着を着ていない」「昔はよく千曲川で泳いだけど、プールには行ったことがない」という方もいらっしゃるかもしれません。11月号でプール運動の特性をお知らせしましたが、今回はその歴史と最新事情をご紹介します。

実は感じていたようで、「健康は水の中にある」という言葉を残しています。

私事ですが、確か高校生ぐらいの時だったでしょうか。現在、中日ドラゴンズ監督の落合博満さんが、現役時代にシーズンオフのトレーニングとしてプールの中を歩いている映像がテレビで紹介され、「プールの中を歩くなんて！」と、びっくりしたことを思い出します。当時としてはめずらしいことだったのですが、今考えてみるとそれが最先端であったことになりました。

ところで「プール泳ぐところ」というイメージが一般的だと思いますが、最近のプールでは、実に様々な運動が行われています。その中でも代表的なのが、水中ウォーキング（歩行）でしょう。そのほかにも、音楽に合わせて手足を動かすアクアビクスなどがあります。こうした水中運動が日本で広まったのは、ここ20年ぐらいの間です。もともと、アメリカから入ってきたものですが、その起源は古く、古代ローマ時代までさかのぼることができるそうです。当時の人々は好んで水中運動を行い、その健康効果を

かかる負担を軽減してくれるので、少し動くとすぐに膝が痛くなってしまう方や、もともと関節に痛みがあつて運動ができないという方には、最適切な運動場所といえるでしょう。泳げなくても大丈夫！さあ、少しズクを出して、古くて新しい水中運動を始めてみませんか。



参考：アクアダイナミックス

研究所ホームページ

@AQUA On-line

地域包括支援センターインフォメーション ⑩

「転びやすいからだ」は 日々つくられています

●歳をとると...

歳をとると、ちよつとしたことでバランスを失い、転びやすくなります。その原因の多くは、運動不足からくる筋力の低下によるものです。

また、老眼や白内障などによる視力の衰え、病気や障害薬の副作用なども関係しています。転倒を予防するには、まず自分のからだの変化を知ること、どう意識したらよい

かを知り行動に移すこと、そして転倒しにくい環境を整備することが大切です。今の生活を下のチェック表で確認してみましょう。

●要介護状態になる前に予防する時代です

「介護予防は介護保険を受けている人が行うもの」と思っていますか？

風邪の予防は風邪をひく前にするように、介護予防は要介護状態になる前に始めるものです。早く始めれば早く始めただけ効果があります。

【転倒・骨折予防のチェックポイント】

- ☐ 1日に1度は外出するよう心がけていますか？
- ☐ よい姿勢で歩くようにしていますか？
- ☐ 転ばないからだづくりを心がけていますか？
- ☐ バランスのよい食事をしていますか？
- ☐ 健康診断または健脚度測定を受け、適切なアドバイスを受けていますか？
- ☐ 骨粗しょう症の検診を受けていますか？
- ☐ 転倒を予防するための住まいのチェックや服装・履物のチェックをしていますか？

合計 個

合計が5個以下の人は地域包括支援センターにご相談を

●問い合わせ先 東御市地域包括支援センター（総合福祉センター内） 電話64-5000

税のワンポイントアドバイス

控除について

Q 私は父と母と3人で暮らしています。母が入院したので、その治療費を負担したのですが、父は母を控除対象配偶者としています。この医療費は、私の医療費控除とすることはできますか？

A 医療費控除は、自己又は自己と生計を一にする配偶者その他の親族に係る医療費を支払った場合に適用されるため、生計を一にする配偶者その他の親族であれば、医療費控除の適用を受けることができます。

Q 私の70歳になる父は、数年前から認知症の症状がでており、今は家族の介護なしでは生活できません。障害者手帳は持っておりませんが、障害者控除を受けることができますか？

A 65歳以上の高齢者（介護保険認定者）で、障害者と同等の障害のある方は福祉事務所（東御市福祉センター）で障害者控除対象者認定書の交付を受ければ、障害者控除を受けることができます。障害者控除対象者の認定手続については、福祉事務所（TEL64-8888）へお問い合わせください。

●問い合わせ先 税務課 住民税係 ☎64-5877（直通）
上田税務署 ☎22-1234（代表）

国民年金アドバイス

Q 確定申告用の年金支払額証明書を紛失してしまった場合はどうすればよいですか？

A 2月から所得税確定申告と住民税申告相談が始まりますが、国民年金保険料納付額は社会保険料控除の対象になります。その控除用の証明書として、11月から「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」が社会保険庁から発送されておりますので、平成18年中に支払った額の証明がお手元に届いていると思われます。もし紛失してしまった場合は、再交付が受けられますので下記へご連絡ください。

〈証明書再交付連絡先〉

小諸社会保険事務所 TEL0267-22-1080

年金手帳又は納付書等に記載の基礎年金番号とお名前をお伝えください。

●問い合わせ先

小諸社会保険事務所 ☎(0267)22-1080

市民課 国保年金係 ☎62-1111（内線1231）

まるごと生活百科

1月の納税（納期1月31日）

- 国民健康保険税（8期）
- 介護保険料（7期）

こちら119（東御消防署）

※カッコは1月からの累計

＝東御市内の11月の出動件数＝

火災 0件（16件） 救急 68件（971件）



とうみの気象記録（東御消防署調べ）

	平成18年11月	平成17年11月
最高気温	23.3℃（10日）	20.3℃（7日）
最低気温	-3.6℃（25日）	-4.2℃（21日）
平均気温	8.2℃	6.3℃
平均湿度	77.2%	75.8%
降水量	65.0mm	34.5mm

東御市消防音楽隊 隊員募集中！

連絡先 東御消防署内 東御市消防団事務局
TEL62-0119

市内交通事故統計 11月分

11月30日現在（※カッコ内は1月からの累計）

	上田警察署管内	望月警察署管内	合計	前年比
件数	12(163)	0(13)	12(176)	+5(-4)
傷者	25(205)	0(15)	25(220)	+17(-32)
死者	0(1)	0(1)	0(2)	0(+1)



善意をありがとう

東御市社会福祉協議会（11月中の受付分です）

ごみ減量アドバイザー 様 7,540円

東御キリスト教会 様 74,282円

武徳館道場 様 タオル

おはよう市場 様 60,813円

花づなの会 様 10,000円、保湿袋



こんにちは保健師です

平成18年度の健診結果

明けましておめでとうございます。どんな新しい年を迎えましたか？

市では皆さんに元気で健康に過ごしていただくための健康チェックとして、健診を実施しています。最近「メタボリックシンドローム」という言葉がマスコミでも取り上げられ、市でもその視点で健診を実施し、腹囲測定などを健診に盛り込んでいます。今回は昨年（平成18年度）の健診結果から、若い人の「メタボリックシンドローム」の状況を簡単にお伝えします。

○健診受診者数（20～59歳）

男 221人
女 781人

（健診受診者全体の44・7％）

メタボリックシンドロームの診断結果20～59歳の状況

●内臓脂肪の蓄積あり

男 112人（50・7％）

女 89人（11・4％）

・このうち高脂血症と高血圧

がある人 男4人 女6人

・このうち高脂血症と高血圧

のある人 男19人 女6人

・このうち高血圧と高血圧の

ある人 男5人 女3人

・このうち高脂血症・高血圧・

高血圧のある人

男7人 女2人

若い年代に肥満！特に男性は半数以上に肥満がありました。そしてその肥満（内臓脂肪の蓄積）が原因で発症する高脂血症・高血圧・高血糖など、心疾患の原因になる素因をもっている人が男性で15・8％、女性で2・2％いました。このような「肥満＋高脂血症・高血圧・高血糖」を併せ持つことで心疾患などの発症は何十倍にもなると言われています。

死亡統計やレセプトの分析から、東御市では若い時から肥満がありメタボリックの状態を放置した結果、働き盛りで心疾患になる人（特に男性）が多い傾向にあることが分か



ながしま みのり 永島 美典 保健師

りました。症状がなく進行してしまふことを早いうちから自覚し、生活を見直して予防することが元気で長生きすることにつながります。

国は「糖尿病予防」を大きな柱とし「平成20年から健診の内容を大きく変えるように」指導をしています。市の健診だけでなく、職場の健診や人間ドックの項目なども変わっていくことと思いますので注目してみてください。

新しい年の幕開け、充実した人生を送るために一年一年自分の体を大切にしてください。



▲起工式の様子

12月4日、東部クリーンセンターで、「排ガス高度処理・大規模改修整備事業」の安全祈願祭と起工式が行われ、関係者40名が出席しました。この工事は、ダイオキシンなどの排出削減を図るため、集じん器を既存の「電気集じん器」から「バグフィルター方式」に変更するものです。「バグフィルター方式」とは、



▲工事が行われる東部クリーンセンター

ダイオキシンなどの排出を抑制する最新の技術で、これまでの方式とくらべ排出量を10分の1以下にできます。また同時に、施設が長く使えるように、老朽した場所を中心に大規模なリフォームも行います。工事期間中、市民の皆様にご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

なるほど The ごみ(gomi) No.28
クリーンリサイクル係 ☎63-6814

東部クリーンセンターで排ガス高度処理設備が設置されます

※時代仮装行列の新しい衣装は、(財)自治総合センターの助成金で作られました。



第16回海野宿ふれあい祭

11月23日、海野宿一帯で第16回海野宿ふれあい祭（同実行委員会主催）が行われ、多くの来場者で賑わいました。消防音楽隊のパレードに続いて新調された衣装をまとった時代仮装行列の一行が通ると、来場者は歓声をあげ、記念撮影をしていました。白鳥神社内の特設ステージでは伝統ある浦安の舞や栗林、常田の獅子舞が行われ、観客から盛んに拍手がおくられていました。来場者はおいしいほうとうなどを食べながら深まる秋を楽しんでいました。



伝統ある▶
浦安の舞



▲常田の獅子舞

青少年育成市民大会

12月3日、サンテラスホールで平成18年度東御市青少年育成市民大会（市、市青少年育成市民会議などの主催）が行われました。田中小学校吹奏楽部の皆さんの演奏や青少年育成活動に貢献された4名の表彰のあと、東部中学校3年生によるボランティア活動の発表がありました。また、「今、社会に望まれること」と題して弁護士の伊藤芳朗さんが講演し、事例を紹介しながら「子どもに対し過大な期待はせず個性や自由をすることが大切です」と話していました。最後に青少年健全育成のための5つの大会宣言(案)を採択し、皆で健全育成への思いを新たにしていました。



人権尊重のまちづくり市民の集い

12月10日、中央公民館で東御市人権尊重まちづくり市民の集いが行われ、約200名の市民が参加しました。はじめに人権啓発作品の表彰が行われ、次に小林フィデアさんによる「ソーテ・サワサワ～私たち皆同じ、みんないっしょ～」と題した講演がありました。タンザニア出身の小林さんは10年前に来日して飯綱町に在住しており、ふるさとの国や暮らす人々の考え方を紹介しながら話が進められました。来日してからの体験や、エイズ問題、いじめ問題などにふれ「みんなの力で何とか解決を」と訴え、参加者は人権について考えながら聞いていました。



トピックス 地域の話

文化会館開館開館 15周年記念コンサート「土の歌」



11月25日、サンテラスホールにおいて15周年記念コンサート「土の歌」が行われ、市民、園児、小学生からなる大合唱団が、群馬交響楽団とともに感動のステージを披露しました。

上越市で鮭のつかみ取りツアー

11月26日、上越市名立区で鮭つかみ取りツアー（北御牧・名立友好協会主催）が行われ、約40名が参加しました。植樹式や鮭のつかみ取りをして交流を深めていました。



冬山安全祈願祭



11月24日、湯の丸高原で冬山安全祈願祭が行われ、観光協会の関係者など約60名が出席しました。冬の湯の丸は県内外からの来客で毎年賑わっており、出席者はスキーシーズン中の安全を願っていました。

環境講演会

12月2日、中央公民館で生涯学習市民大学講座「環境講演会」が行われ、参加者は気象予報士の富沢勝さんによる災害の実例を交えた話に聞き入っていました。



日々の練習の成果、そろばんコンクール



11月23日、上田市でそろばんコンクールが行われ、市内から11名の小中学生が出場し、そろって健闘しました。金賞の吉村卓人さん（滋野小6年）は、「得意な割り算がよくできました。これからもそろばんを続けたい」と話していました。

東御市の文化財展開催

12月14～21日までサンテラスホール展示室で「東御市の文化財展」が行われ、来場者は両羽神社太刀・経筒やオオルリシジミ、アケボノゾウなどの充実した展示に見入っていました。



12・11
年末の交通安全運動開始に伴い、交通安全関係者が交通指導所を開設（写真はインター南交差点）

12・1
田中駅前年末特別警戒街頭指導

11・26
青少年育成将棋大会結果・名人戦（A級初段以上、B級初段以下）A級：優勝 勝田五郎、二位北沢義行、三位秋山敏行 B級：優勝 小林清、二位渡辺正行、三位吉沢武 【育成会戦（小・中学生の部）は部活等と重なり中止】



11・23
生涯学習まちづくり講座で福岡強さんによる講演

できごとと短信

平成 18 年
12月27日発行



油彩、キャンパス 97.0cm×130.3cm 2003年頃

絵は心の恋人探し

その33

『雪降る夜』（金沢）

水村喜一郎作

いよいよ冬本番、寒いですね。ブルブル。

大雪の町に浮かぶ明かりは、なんとも暖かい感じがします。この作品の明かりの向こうではいったいどんな人間ドラマが繰り広げられているのでしょうか。窓明かりそれぞれが、微妙に異なる色使いで描かれているためか、この家ではあの家ではと余計にそんな想像をかき立てます。

屋根に積もった雪の感じからして、ついさっきから降り出した大雪だろうか。ガリリと格子戸を開けながら「今夜は冷えるな。これは大雪になるよ」といつて入って行くと「あらほんとだ！」と割烹着姿のおかみさんが驚いて外へ出る。「あらあら」といつて戻ったおかみさんに「おひとついかが」とすすめられその色っぽさにハッとときめく。たわいもない談笑の間にも、外では音も立てずしんと降り続く雪。帰る頃にはまっ白だ。一変した外の風景に驚いて、

「お気をつけて」と送られ一人どこへ行く…。フーテンの寅さんのようになりましたが、何ともいいですね。こんなドラマを空想できるのもこの作品の魅力です。

水村さんの絵には郷愁が漂う風景が多くあって、その風景の中に人や暮らしを感じ、土地や建物の「年輪」をも想起させます。そしてなんと自分でも暖かみがあります。自分の心が絵に近づいて行く、そんな作品です。

朝日新聞の田中三蔵氏は水村さんの絵を「心にしみる絵」と評しました。そんな絵と出会うことが最近はいくらもありません。

11月28日に、水村さんは称津小学校に招かれ講演を行いました。子どもたちを相手にして、人なつこく人間好きな水村さんの人柄と心意気が、心にしみのお話でした。

（梅野記念絵画館学芸員 佐藤聡史）

水村喜一郎 1946

東京・墨田区生。9歳の時、感電事故により両腕を切断するも口に絵筆をとり画家を目指す。獨協大学外国語学部英語科卒。「手で描こうが口で描こうが、絵描きは絵がすべてだ」の信念を貫き、日本全国で個展開催多数。油彩を主に、デッサンや水上勉氏考案の竹紙に水彩も描く。2005年当館で自選展開催。現在千葉県鴨川市在住。著書「両腕を失っても夢は捨てない」（市立図書館蔵）。

●発行／長野県東御市 ●編集／東御市役所総務部企画課 〒389-0592 長野県東御市東281-2
TEL (64) 5806 FAX (63) 5431 E-mail shino-tomi@city.tomi.nagano.jp
●東御市ホームページ http://www.city.tomi.nagano.jp/
●印刷／田口印刷株式会社

人の動き

（12月1日現在）

世帯数

11,293世帯（-4）

総人口

32,164人（-46）

男 15,761人（-21）

女 16,403人（-25）

転入 78人（-14）

転出 106人（-29）

出生 17人（-6）

死亡 35人（+13）

※カッコは11月対比

東御市役所はチーム・マイナス6%に参加しています

ISO 14001 JACO

ECO1J0299

PRINTED WITH SOY INK R100

編集後記

▼明けましておめでとうございます。2007年の幕開けです。お正月というとき皆さんは何を思いうかべるでしょうか。おもちゃ、みかん、風揚げ、初詣で、新春スポーツ、初夢、書き初め：一年の中でも特に季節感あふれる時期です▼一年がはじまるにあたり、今後の目標をたてる方も多いことでしょう。私も毎年いろいろなことを考えるのですが、「今年もできなかった」という結果が多いのが実情です▼しかしよく振り返ってみると思いがけない喜びや楽しみに偶然出会ったこともあります。人生は良くも悪くも計画どおりにはいきません。当然のことですが、そこがまた楽しいところなのだと思います▼2006年は命の尊さが改めて認識された年でした。「喜怒哀楽」というように、喜びと楽しみだけではないし、うまくいかないこともあるかもしれせん。人生の全てを順風満帆に過ごせる人はいないと思います。社会的に弱い立場にあると言われている方々、特に多感な子どもたちに対して、社会全体が肩肘張らずに大きな視野で見守れるような年になればいいと願っています。

（市報担当 久保）